

重粒子線治療

— がん治療の新たな選択肢 —

大腸がん術後再発



山形大学医学部
東日本重粒子センター
EAST JAPAN HEAVY ION CENTER
FACULTY OF MEDICINE - YAMAGATA UNIVERSITY
山形大学医学部附属病院

『重粒子線治療』を

お勧めする 3 つの理由

1

効き目が強い

他の放射線に比べ破壊力が強く、今まで効きにくいとされてきた骨肉腫などにも効果を発揮します。

2

正常臓器への負担軽減

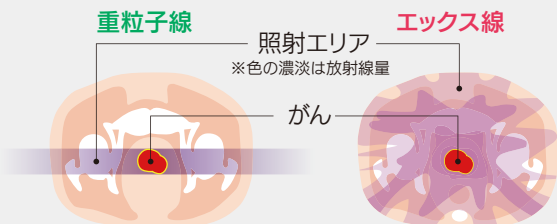
がんに集中的に照射が可能で、周りの正常臓器にはダメージが少ない治療です。

3

短期間で治療できる

他の放射線と比べ、重粒子線は照射回数が少なく、概ね半分以下の短い期間で治療できます。

重粒子線とエックス線の照射範囲の違い



重粒子線のほうがエックス線より少ないビームでがん集中させることができ、正常組織に当たる範囲や量を抑えることができます。

※すべての照射が完了した際の照射影響範囲
イラストは前立腺がんの場合のイメージです。

大腸がん術後の局所再発について

重粒子線治療の対象となる場合

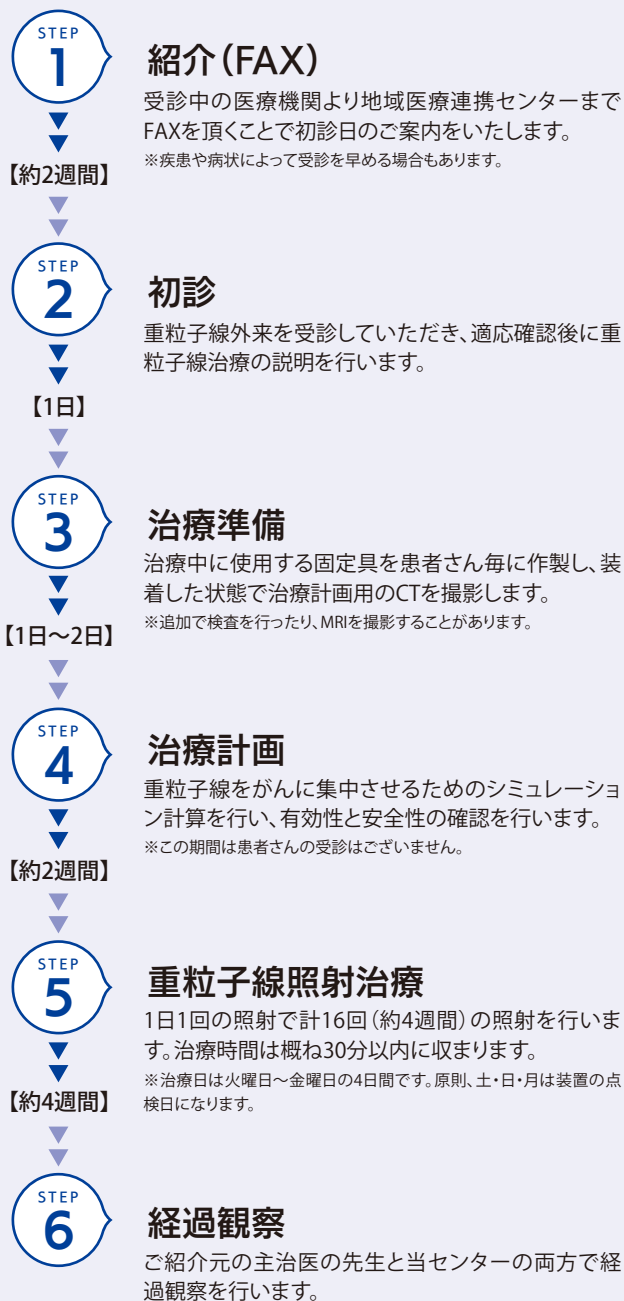
手術による根治切除ができない場合や十分に手術の説明を受けられた上で手術を拒否された場合
大腸がん(直腸、S状結腸、下行結腸、横行結腸、上行結腸、盲腸のがん)の手術後に骨盤内に再発した場合

重粒子線治療の対象とならない場合

- 病気が他臓器へ転移している場合
- 膀胱や消化管(小腸・大腸)
- 治療範囲内に活動性の感染症に浸潤している場合



治療の流れ



治療をご希望の方へ

まずは主治医の先生に
ご相談ください

治療に際して

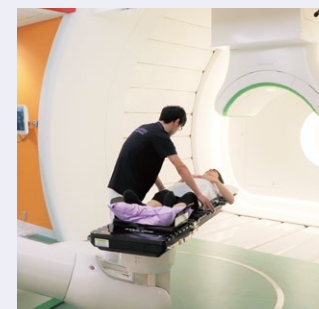
治療中には照射部位にあわせて皮膚炎や食欲不振、下痢などが出現することがあり、必要に応じてお薬を処方します。照射後1～2ヶ月かけて少しずつ回復します。治療後数ヶ月～数年後の副作用は、腫瘍の部位によって様々です。消化管出血、神経障害、骨折などが起こる場合があります。これらの副作用のほとんどは一度起こると回復は困難です。

公的医療保険適用の治療です

大腸がん術後再発に対する重粒子線治療費は公的医療保険が適用され、自己負担額はその1～3割となります。高額療養費制度*を適用できることから、実際のご負担額は収入と年齢によって決まる月ごとの自己負担上限額となります。

※最新の情報は厚生労働省のホームページをご覧ください

回転ガントリー照射室



上下左右や斜めなど、いろいろな方向から治療部位にピンポイントで重粒子線を照射しますので、患者さんは楽な姿勢のまま治療を受けることができます。国内で回転ガントリーを使用している重粒子線治療施設は、当センターおよびQST病院(千葉市)の2施設だけです。

アクセス

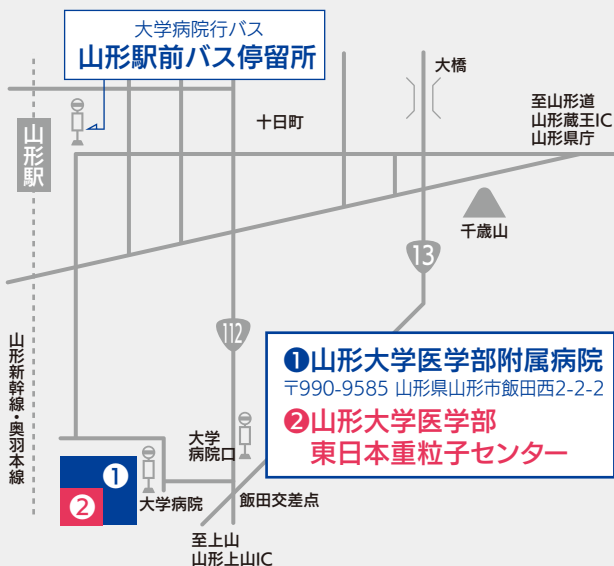
● タクシー

JR山形駅から約10分

● バス

仙台駅前から上山行き高速バス(山交バス・宮城交通)23番
乗り場乗車、大学病院口下車(約75分)

山形駅前から大学病院・東海大山形高行きバス(山交バス)
乗車、大学病院下車(約15分)



お問い合わせ

山形大学医学部東日本重粒子センター事務局

TEL **023-628-5404**

受付時間 9:00~17:00(土日祝日を除く)

東日本重粒子センター

検索



山形大学医学部
東日本重粒子センター
EAST JAPAN HEAVY ION CENTER
FACULTY OF MEDICINE
YAMAGATA UNIVERSITY
山形大学医学部附属医院

©2020 Yamagata University
All Rights Reserved.



GREEN PRINTING JFPI
P-B10196
この印刷製品は、環境に配慮した
原料と工場で製造されています。



ミックス
紙 | 責任ある森林
管理を支えています
FSC® C170021